

■今、起きていることを知る

◇千葉県防災ポータルサイト

下のようなことを知ることができます。日本語・英語・韓国語・中国語・スペイン語・ポルトガル語で書いているページもあります。

- ・千葉県の地震・津波・台風など
- ・避難勧告・指示<にげてください>という連絡<情報>、避難所<にげる ところ>のあるところ
- ・あぶない場所など、すぐに知ってほしいこと
- ・天気予報（注意報・警報・雨の多さなど）
- ・電車や道路の止まっているところ
- ・電気や水道

<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/>

◇外国人のための情報アプリ「Safety tips」<スマホで みられます>

このアプリは、地震や津波などのときやくにたつ情報があります。いろいろなことばでみることができます。

- ・下の URL からダウンロードしてください

Android: <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rcsc.safetyTips.android>

iPhone: <https://itunes.apple.com/jp/app/safety-tips/id858357174?mt=8>

◇NHK WORLD-JAPAN<災害の情報が スマホで みられます>

地震や台風がきたときに、新しいニュースをおしえます。英語と中国語でみるができます。

■家で やっておくこと

◇準備しておくもの

食べものはいつも多く買っておきます。災害で店にいけないときがあります。古いものから食べてください。食べたものを新しく買ってください。カセットコンロがあると、あたたかいものを食べることができます。

[家にいつもおいておくもの]

- ・水(1人 1日 3リットル、1週間分)、カセットコンロ、カセットボンベ<かえのガス>、食べもの(米、カップラーメン、レトルト食品<パックのカレーなど>、おかしなど)
- ・小さいラジオ、非常用トイレ、携帯電話のバッテリー、懐中電灯<もちはこびのできるライト>、ゴミ袋
- ・よく使う薬、生理用品<ナプキンやタンポン>、粉ミルク<赤ちゃんののむミルク>、オムツ

あか ひと
 <赤ちゃん、としをとった人>など

〔にげるときに もっていくもの〕

みず た けいたいでんわ かいちゅうでんとう ぼうさい あたま
 □水、□食べもの、□携帯電話の バッテリー、□懐中電灯、□ヘルメット、防災ずきん<頭に かぶる
 もの>、□常備薬、□お金、□通帳、はんこ、 □タオル、□服、下着、□マスク、□かっぱ、レインコー
 ト、□ティッシュペーパー、□ライター、ろうそく、□ゴミ袋など

◇家が こわれないために すること

ふるい いえ き いえ じめん いえ かい かべ いえ
 ふるい 家や 木の 家、地面が よわいところにある 家、1階の 壁が すくない 家などは、
 たいしんしんだん じしん じしん じしん つよ いえ
 耐震診断<どれだけ 地震につよいか しらべる>を して ください。地震に 強い 家にして くださ
 い。

おお おお かく うご へ や こ へ や おお かく
 大きな 家具は 動かないようにして ください。ねる 部屋や 子どもの 部屋に 大きな 家具を おか
 ないで ください。にげるときに あぶないです。家具を おく 場所を よく 考えて ください。窓に
 ひさんぼうし
 飛散防止フィルム<われた ガラスが とばないようにするもの>を はって ください。
 かんしん じしん でんき きかい か じ
 「感震ブレーカー」は、地震が くと 電気を とめる 機械です。火事が おきにくいです。

◇危険な 場所や 避難場所<にげるところ>を して ください

たいふう つよい あめ つなみ ぼしよ し やくしよ
 台風や つよい 雨、津波などが きたとき、あぶない場所を 知って ください。役所の ハザードマップ
 ぼしよ ちず し
 <あぶない 場所を おしえる 地図>などで 知ることが できます。
 ひなん ぼしよ みち し あんぜん あめ つなみ
 避難の場所と いく道を 知って ください。安全に にげることが できます。つよい 雨のときと 津波
 ひなんぼしよ
 のときで、避難場所がちがうかもしれません。

◇防災訓練<地震などが きたときのための 練習>

にほん じしん おお くに やくしよ きんじよ ぼうさいくんれん かなら
 日本は 地震が 多い 国です。役所や 近所で 防災訓練を するときは、必ず いって ください。
 じしん し
 地震などが きたとき、どうすればいいか 知って ください。

■地震が きたときに すること

①緊急地震速報

きんきゅうじしんそくほう
 地震が くる すぐ まえに、緊急地震速報が テレビや ラジオに できることがあります。ゆれる まえの
 じかん じぶん じゅんび
 みじかい 時間で、自分の からだを まもる 準備をして ください。

②地震が きたとき

し た じしん ま
 テーブルや つくえの 下へ いって、からだを まもって ください。地震が おわるまで 待って くださ
 い。

③地震の ゆれが 止まったとき

うみ やま ちか ひと つなみ やま
 海や 山の近くの人は すぐに にげて下さい。津波や 山くずれが くるかもしれません。
 ひ と まど みち
 すぐに 火を止めて ください。ドアや 窓を あけて にげる 道をつくって ください。

④にげる、家族が 大丈夫か 知る

ラジオなどで 正しい 話を きいて ください。家が こわれそうなときは、にげて ください。準備して
いた ものを もって、くつを はいて、あるいて にげて ください。

電気の ブレーカーを 止めてから にげて ください。感震ブレーカーが あれば、機械が 電気を 止
めてくれます。

はなれたところに いる 家族が 大丈夫か 知って ください。電話は できるだけ 使わないで くださ
い。災害用伝言サービス<メッセージ>の こすことが できる>を 使って ください。家族に 連絡す
ることが できます。

さいがいようでんごん
・災害用伝言ダイヤル<171>

<http://www.ntt-east.co.jp/sagai/voice171/>

・Web171

<http://www.ntt-east.co.jp/sagai/web171/index.html>

けいたいでんわさいがいようでんごんぼん
・携帯電話災害用伝言版

<NTT ドコモ>

<https://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/index.html> (日本語)

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/info/disaster/index.html> (英語)

<au>

<http://www.au.kddi.com/mobile/anti-disaster/sagai-dengon/> (日本語)

<http://www.au.kddi.com/english/mobile/anti-disaster/sagai-dengon/> (英語)

<ソフトバンク>

<http://www.softbank.jp/mobile/service/dengon/> (日本語)

<ワイモバイル>

<http://www.ymobile.jp/service/dengon/> (日本語)

⑤人を たすける

大きな 地震などのときは すぐに たすけに くることが できません。ちかくの 家の 人と 一緒に 火
を けて ください。けがをした人を たすけて ください。防災訓練へ 行って、練習して ください。

⑥避難所<にげる ところ>

ラジオなどの ニュースを きいて ください。

食べるものは ありますが、最初は 家から もってきたものを 食べて ください。

避難所では、ほかの人と たすけあいましょう。

◇津波

千葉県ちばけんの東ひがし、西にし、南側みなみがわは海うみがあります。地震じしんのあとで津波つなみがくるかもしれません。海うみのちかくにいるときに地震じしんがきたら、できるだけ海うみからとおい、高いところへたかにげてください。

<津波つなみについて 注意ちゅういすること>

- ①強い地震つよ じしんがきたときは、すぐに海うみからとおい、高いところへたかにげてください。弱い地震よわ じしんでも、長いあいだなが ゆっくりとゆれたときは、にげてください。
- ②ゆれていないときも、津波警報つなみけいほう<津波つなみが すぐに くることを知らせる>が 来たときは、すぐに にげて ください。
- ③津波つなみは 何回なんかいも きます。警報けいほうが なくなるまで 家いえに かえらないで ください。

地震じしんや 台風たいふうなどのときに よく つかう 日本語にほんご

避難 <small>ひなん</small>	にげること
高台 <small>たかだい</small>	高いところ
迂回 <small>うかい</small>	いつもとちがう <small>みち</small> 道を いく
安否 <small>あんび</small>	大丈夫 <small>だいじょうぶ</small> かどうか
停電 <small>ていでん</small>	電気 <small>でんき</small> が 止まる
断水 <small>だんすい</small>	水道 <small>すいどう</small> の 水 <small>みず</small> が でなくなる
給水車 <small>きゅうすいしゃ</small>	水 <small>みず</small> を 配 <small>くば</small> る 車 <small>くるま</small>
不通 <small>ふつう</small>	とおることが できない

■台風たいふう・つよい 雨あめ

日本にほんには、毎年まいとし 多くの 台風たいふうが きます。強い 風かぜや 雨あめで、死ぬ人し ひとや けがを する人ひとが います。天気てんきに 注意ちゅういして、はやくから 準備じゅんびして ください。役所やくしょから 避難情報ひなんじょうほう<にげる お知らせ>が 来たときは、すぐに にげて ください。

◇台風たいふう・つよい 雨あめのための 準備じゅんび

- ①家のまわりをいえ しらべて ください。風かぜで 飛んでいきそうなものは ぜんぶ 家のなかへ 入れて ください。または、飛ばないようにして ください。川かわから 水みずが きそうな ところでは、家具かぐや 食べ物たべものなどを 2階かいなど 家の 高い 場所たかへ もっていって ください。
- ②電気でんきが 止まるかも しれません。懐中電灯かいちゅうでんとうや ラジオ、携帯電話けいたいでんわの バッテリーなどを 準備じゅんびして ください。
- ③水みずが 止まるかも しれません。飲む 水みずを 準備じゅんびして ください。
- ④天気予報てんきよほう(警報けいほう、注意報ちゅういほう、雨の多さあめ おお)を みてください。
- ⑤できるだけ 外そとへ 出でないで ください。台風たいふうが くる まえでも、電車でんしゃや バスが 止まること が ありま

す。テレビ、ラジオ、インターネットで みてください。

- ⑥ 病気の人や 子ども、あるけない人を 安全な 場所へ つれていって ください。
- ⑦ 役所のお知らせに 注意して、できるだけ はやく にげて ください。にげるのに 時間が かかる 家族がいるときは、はやくにげてください。

◇にげる

「警戒レベル」を みて、いつ にげればいいのか 知って ください。警戒レベル3、4が でたときは、すぐ に にげて ください。

〔警戒レベル1〕 台風などの 準備が できているか しらべて ください。

〔警戒レベル2〕 避難場所へ いく 道を たしかめて ください。

〔警戒レベル3〕 にげるのに 時間が かかる人は にげて ください。年を とった人や あるけない 人、子どもなどです。役所から 「避難準備情報」が できます。それ以外の人は にげる 準備をして ください。

〔警戒レベル4〕 ぜんぶの人が にげて ください。役所から 「避難勧告」や 「避難指示」が できます。

〔警戒レベル5〕 災害が おこりました。家や まちが こわれています。自分が 死なないように 命を まもってください。

■火事

日本の 家や アパートは 木で できています。畳や 紙の戸など、火が つきやすいものが 多く あります。火事をおこさないように いつも 注意して ください。

◇火事をおこさないために 大事なこと

- ① ベッドやふとんの上で たばこを すうことは 絶対に やめて ください。
- ② ストーブは 火が つきやすいものから とおい ところにおいてください。
- ③ ガスコンロなどの ちかくに いないときは、必ず 火を けて ください。
- ④ 住宅用火災警報器を つける 必要が あります。
- ⑤ ふとん、服、カーテンに 火が つくかも しれません。火が つきにくいものを 使ってください。
- ⑥ 火が 小さいうちに 消すことが 大事です。住宅用消火器〈火を けす 道具〉を 家において ください。
- ⑦ 家のちかくの人を 助けることが できるようにして ください。